

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

「言葉は世界をつなぐ平和の礎」という本学の理念に基づいた教員養成を行っている。英語(外国語)指導を通じて言葉の持つ魅力や他言語への憧れを喚起し、外国語と将来の関わりに関心が持てる生徒を育成できる教員となるよう、本学教職課程では次のとおり、個々の学生に対する懇切丁寧な教育の実施及び教育の質的向上に取り組んでいる。

1. 教職課程委員会

教職課程担当教員に加え、教科教育法担当教員及び教務委員の教員・事務職員にて、年間およそ4回の会議を開催し、情報共有や課題解決・改善に対する議論を行い質的向上に努めている。

2. 学習支援活動ボランティア

教育委員会と連携をはかり、学校教育機関において展開されている学習支援関連のボランティア活動につき、所定の要件を満たした場合、単位化を行っている。

3. 教職課程共同研究室

公・私各校の教員求人情報や学校案内、問題集・資料集・教育関係書籍・新聞など、教職課程で学ぶ学生に有益な情報を集めた部屋を設けている。PC やデスク、ホワイトボードを設置することで、資料閲覧だけでなく自主学習や合同学習、模擬授業の練習等も行える環境となっている。

また、毎週教職課程の教員による在室時間を設けており、学生個々の相談に応じ、スキルアップにつなげる仕組みも設けている。

4. 千葉県や各種学校・団体、卒業生との連携

教職課程の正課内・外において、学内外の教育関係者による実践的指導を取り入れており、学生が教師としての使命感・責任感を感得することや、自己の能力・適性を省察する機会を与えることで、学生の資質向上に努めている。

他に、卒業生教員を講師とする採用試験対策講座なども積極的に実施しており、継続的に教育現場の生の声やアドバイスに触れる事のできる環境を設けている。

5. 実習担当教員の配置

教育実習を行う学生には、それぞれ教職課程の教員が個別に担当を担い、必要に応じ教育実習に付随する課題・相談への対応や、個人の教職用ポートフォリオ・実習日誌の指導等に携わっている。本学の教員が常にきめ細やかなフォローやアドバイスを行うことで、教職課程の学生に気づきや成長を促すことが出来ている。

以上